

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 1月 29日

事業所名 チャイルド
サポートみやこⅡ

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		8	2	机・椅子の配置、グループ	
	2 職員の配置数は適切である	7	3			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	1			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2		朝のミーティングを常に行っている	職員間の温度差が感じられる
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	2		定期的に面談の実施。日々の送りだしで話でつしっかりとニーズを把握できている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			HPで公開	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2		研修を行っている	研修は行っているが実践には繋がっていない
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	4		モニタリングをスタッフで行い共有している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	8			プログラムを考える人、考えられる人が限られ、任せが多い。責任感を持って取り組む、
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2		曜日を固定化しないように、子どもたちの下校時間で計画 子どもたちの意見、スタッフの意見を取り入れている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2		前もってのアンケートをとり、設定を行っている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	10			計画を立て実施	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	8		朝礼で打ち合せを行い確認	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	9		気になった時はスタッフ間で話をし共有している 気付いた点は、次回に繋げる支援を離し合っている 翌日や週1回のMTGで共有している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10				
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	3			ガイドラインの認識がないスタッフもいる

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	2		送迎時に担任(担当)の先生と話をして、日中活動の内容、様子等をきいている その都度、学校と会議を行っている。(情報交換)	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	8			医療ケアのお子さんがいない保護者を通じて情報共有、緊急搬送時のマニュアル化をする
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	8		利用児童が基本小学3年生以上が対象となる事業所の為、家庭や以前通っていた事業所と情報共有をおこなっている	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	8		過去該当者がいた際には実施している	該当生徒なし、今後予定があるため準備が必要
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	4		土屋先生の助言等を受けている	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10			図書館や買い物、地域の場所を活用している 近くの児童館に行って他児の交流をしている	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		10		代表者が参加している	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	2		送り出し時や面談にて共通理解につなげている	保護者からの諮詢や悩みは聞くが、はっきりと答えられないため、もっと支援方法を勉強する必要がある
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っている		10		個別の相談に対しても実施している	全体案内はしているが参加率が芳しくない。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	4		相談があつた際はすぐに場を設けている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	3	1	親子参加型の活動や茶話、将来の勉強会の実施	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			ヒヤリハットを行い、保護者に説明、今後の対応を行っている 何かあった場合は、すぐにミーティングを持っている	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	5		計画を立て張り出している。	定期的ではないが、イベント・行事等の際は必ずおこなっている
	35 個人情報に十分注意している	10				
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1			

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37					
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		随時見学を実施している	(未回答2)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1		季節の変わり目には、保護者便りを出し、感染などについてお知らせをしている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			定期的に防災訓練を行い、子どもたちも一緒に避難場所の確認までおこなっている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	2		ヒヤリがでてきたら、必ず共有している	